

葛飾区生成 AI の活用について

目的

職員意識調査において、自分の分野以外の相談を受けることに対して自信がないと回答した職員が 60%を超えており、その中でも入区してからの年数や現所属の在籍年数が少ない職員にその傾向が見られた。

→この結果から、自分の分野以外の制度に対する知識が不足していることが推察されたため、知識を補うため葛飾区生成 AI を活用するもの。

取組内容① ◆作業部会で生成 AI の利用方法を共有した。

The screenshot shows the 'Katsushika Chat' interface. At the top, there's a 'Chat' section with the message: '標準的なAIとの対話をしています。' Below it, there's a 'かつしかChat' section. A red box highlights the '資料・マニュアルの問い合わせ' (Inquiry about documents/manuals) option, which is described as 'AIに資料に関する質問を行います。'. To the right of this box, there are four other options: '議会議事録の抽出' (Extract from議会議事録), '起案文書の作成・添削' (Create/revise proposal documents), 'PR文の作成' (Create PR documents), and '過去の事業施策の課題検討' (Review of past policy issues). A hand icon points to the 'PR文の作成' section.

The screenshot shows the 'Katsushika Chat' interface with a red box highlighting the 'Add Reference Materials' section. This section shows a list of documents currently selected for AI reference, including '葛飾区地域振興計画', '葛飾区障害者施策推進計画', '高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画', '消防', '統計', '政策', '環境基本計画', '子ども・子育て支援事業計画', 'スポーツ推進計画', 'わたしの便利帳', '議会議事録(令和3年～令和7年1定期)', '起案文書原本', and '戸籍住民課住民登録係'. A hand icon points to the 'わたしの便利帳' item. To the right of the list, a box contains the text: 'AIが回答を生成する際に参照するマニュアルに各課の資料を追加することに！' (Add documents from each department to the manual referred to when generating an answer!).

葛飾区生成AI

チャット履歴 資料・マニュアルの問い合わせ 利用ナレッジ ナレッジ詳細

ナレッジ詳細

ナレッジ詳細を表示します

くらしのまるごと相談窓口ではどんな相談ができますか。

AI が回答を生成する際に 参照したマニュアルの該当箇所

AI が作成した回答

生成された回答の下部に利用ナレッジで 選択した文書の関連箇所が表示され、 リンクをクリックすると、画面右側に該当ページが表示される。

取組内容②

- ◆回答の根拠となるマニュアルとして、各課にナレッジに投入したい資料を調査し、集約した資料を生成AIに追加した。
- ◆作業部会員に共有し、各課で生成AIの活用を進めていく。

追加資料

- ◆介護保険制度と高齢者保健福祉サービスのご案内（高齢者支援課）
- ◆身体・知的障害者福祉のしおり（障害福祉課）
- ◆精神障害のある方とご家族のための 医療と福祉のしおり（保健センター）
- ◆保護者向け相談窓口ガイドブック（総合教育センター教育支援課）